

1 事業概要

事務事業名		科学実験教室推進事業		課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	296	
				会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
				開始	H11	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画		3	地育力が支える学び合いで、生きる力を持ち、心豊かな人材を育む				
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画				
法令・例規等								
事業目的		対象	小、中学校（児童、生徒及び教員）、市民（親、地域の役員等）					
		意図	児童、生徒が科学の楽しさや不思議さを学び、興味を持ってもらう。					

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	おもしろ科学工房スタッフにより理科実験ミュージアムを開催しました。おもしろ科学工房スタッフにより出前工房、学校クラブ活動支援、科学実験講座等を行いました。		理科実験ミュージアム運営事業補助金				1,050	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度
	理科実験ミュージアム参加者数		人	5,855	5,784	6,264		
	出前工房参加者数		人	3,568	3,448	3,702		
	支援事業参加者数		人	1,546	1,317	1,454		
30年度 決算 (千円)	予算額		1,050	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		1,050					
	財源の 状況	国庫支出金		0				
		県支出金		0				
		地方債		0				
		その他		0				
一般財源		1,050						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	4	1,050	1,050	科学実験教室推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		理科実験ミュージアムは、飯田信用金庫や高校生、短大生などにボランティアスタッフとして大勢参加していただきました。図書館とのコラボ企画や招待講師による特別講座など、様々な分野の団体等と連携した取り組みができました。その一方で、出前工房や学校での科学実験教室などの要請が多くあり、スタッフの育成、充実が求められています。							
上記の課題解決のための有効策		理科実験ミュージアムや出前工房を体験した参加者に対して、ボランティアスタッフ加入への働きかけを行い、スタッフの拡充、育成に努めていきます。							
次年度に向けての取り組み		運営を担っているボランティアスタッフの高齢化もあり、若い世代の技術向上のため研修会の開催やボランティアスタッフの募集を呼びかけていきます。また、今後も引き続き理科実験ミュージアムや出前工房などで親子に科学実験の機会を提供していきます。							